

最近、本麒麟の広告をインターネットで見ましたか

確かに見た

見たような気がする

プライバシーポリシー

わからない

見た覚えはない

朝日新聞デジタル > 記事

## 8段のひな飾りも登場 宇城市の小川町商店街

森北喜久馬 2024年3月2日 10時00分



✉ f X B! ...  
list 0



初公開される8段のひな飾り。長谷川京子さん（左）が持ち込み、一般社団法人Kiteの大池早代・代表理事（右）が飾り付けた=2024年2月28日午前11時33分、宇城市小川町の「風の館 塩屋」、森北喜久馬撮影



熊本県 宇城市 小川町 の小川町商店街にある「風の館 塩屋」で、さまざまなひな人形が展示されている。商店街では近くイベントが予定され、主催者は「ひな人形も併せて見に来て欲しい」と呼びかけている。

国の登録有形文化財になった町家「旧岩崎家住宅」を、地元住民が文化的行事に使えるようにしたのが「風の館」。毎年この時期には近隣から託されたひな人形を展示している。

今年は初めて8段飾りが登場した。近くに住む長谷川京子さん（90）が10年ほど前に千葉に住んでいた妹から預けられ、自宅である町家で飾ってきた。50年以上前の豪華な作りが口コミで広がり、見に来る人が増えてきたが、「せっかくなら多くの人に見てもらおう」と風の館を運営する一般社団法人Kite（カイト）に声をかけて実現した。

会場には、長谷川家が所有する屋根付きの内裏びなも展示されている。京子さんが68年前に長女の明子さんを産んだ祝いに、実家から贈られたという。その2歳上の長男が、俳人で朝日俳壇の選者でもある長谷川権（かい）さんだ。

[PR]

商店街では3日、伝統行事の初市がコロナ禍を経て4年ぶりに開催される。9日には、商店

街にある登録有形文化財をめぐる「町家探訪ツアー」がある。参加申し込みは前日までにKite（info@kite-ogawa.org）へ。（森北喜久馬）

有料会員になると会員限定の有料記事もお読みいただけます。

今すぐ登録（1カ月間無料）

ログインする

注目の連載記事 →

もっと見る

西成ディープリンサイド 釜ヶ崎、10年後の風景  
「釜の写真館」思い出も遺影も ユーチューバーと逆の発想が写すもの



ニューヨーク・タイムズ コラムニストの眼  
ナワリヌイ氏獄死 西側にもいる追従者に問われる責任 NYTコラム



注目情報

ロシアによるウクライナ侵攻から2年

日本に暮らす避難民がいま、望むこと

文京学院大で感じた作業療法士の魅力

社会で役に立つ意味 卒業生がトーク